

課題：国の医療政策への反映 第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

厚生労働省の戦略的アウトカム研究
参考：米国の「Healthy People 2010」

- CKDは2007年度の戦略的アウトカム研究のテーマとして取り上げられることになった

(米国では、すべての国民の健康を増進するために28の疾病分野で2000年から2010年までの間に、病気の克服のためのロードマップを作成するプロジェクト「Healthy People 2010」が米国厚生省(HHS: Department of Health and Human Services)の機関(NCHS/CDC)で進行中であり、28分野の中のひとつにCKDが位置づけられている。)

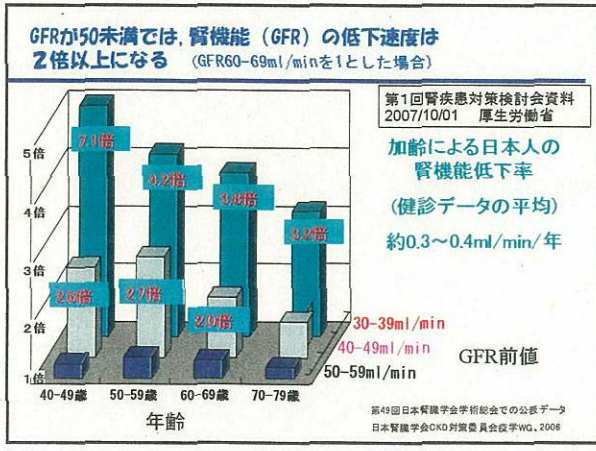
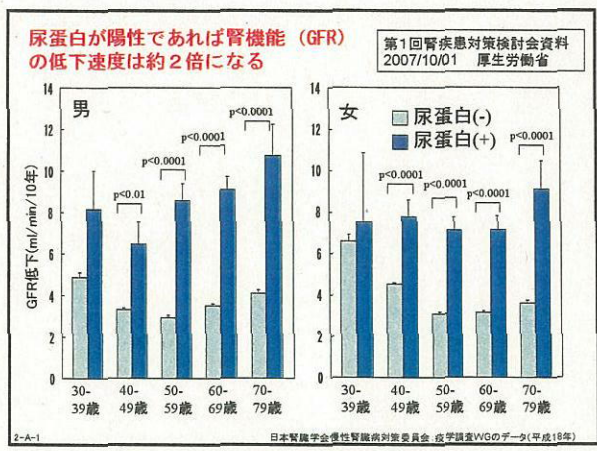
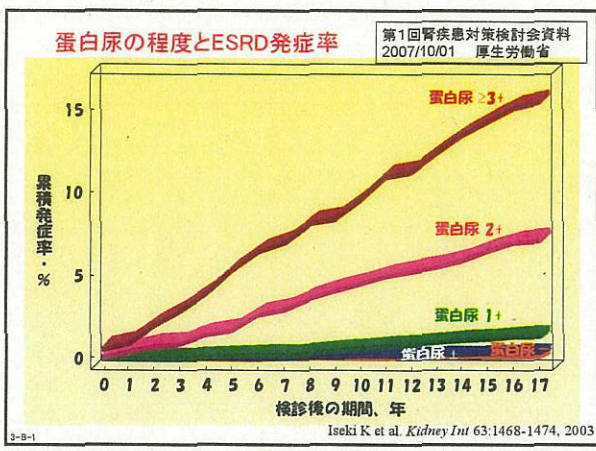
↓

医療政策への位置づけ：保険診療への組み込み

日本腎臓学会CKD対策委員会の活動 (2004年11月～現在) 第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

**CKD (慢性腎臓病)
Chronic Kidney Disease**

- 疫学WG：有病率の推定、腎機能低下速度、GFR推算式作成
- 診療ガイドラインWG：一般医向けCKD診療ガイドの作成
- 企画推進WG：日本CKD対策協議会(J-CKDI)の設立と啓発活動
- 国際協調・国際貢献WG：AFCKDI 2007を開催



腎機能評価 (GFR) に関する今後の課題 第1回腎疾患対策検討会資料
2007/10/01 厚生労働省

- 新式のvalidationを行う必要がある。現在、プロジェクトでイヌリンクリアランス(Cin)測定を終了し、解析中である。論文化したあと、公式の結果を来年の腎臓学会までに最終報告する。
- 2008年にシスタチンCの標準化が行われれば、ただちにシスタチンCを使用した式も作成し、他の式と比較検討する。
- 臨床腎移植学会との合同で腎移植ドナーのCinを測定しており、日本人の正常GFRを把握する。
- 全国10施設の2005年の健診データを使用して再度GFRの分布、頻度、加齢による腎機能低下速度、を調べる。
- どの程度のGFR低下がCVDの発症のリスクか、検証する。
- eGFRの自動レポートを検査関連の学会等と協議して実現する